

安心別荘ライフ

本年元旦の能登半島地震では、当館にも少なからず被害があり、共用部については補修について順次検討、実施する方向で調整していますが、専有部についても被害があったお部屋が少なくありませんでした。気象庁の統計によると、2011年の東日本大震災以降、わが国のどこかで、震度6弱以上の巨大地震が31回も起きており、現在の日本は巨大地震の周期に突入しているとも言われており、活断層である六日町断層帯の至近にある当館近辺で、いつまた巨大地震が発生してもおかしくありません。そうした状況下でのリゾマンライフで安心と快適を得るためには??

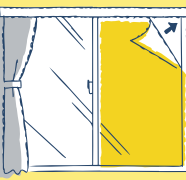
そんな観点で特集を組みました。

防災対策編

1

家具類の置き方、工夫してありますか？

扉解放防止器具



ガラス飛散フィルム

建物は頑丈だけど、家具家電類は大丈夫??



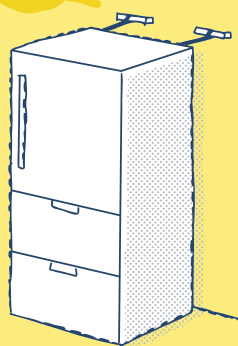
過去の巨大地震では家具類の下敷きになって亡くなった方も多く、また今回の能登半島地震では、当館の上層階の専有部において、家具の転倒、高価な備品・食器類の損傷が発生しました。ホームセンター等で防災グッズを購入し対策を講じましょう。



家具・家電類の転倒防止策



壁面固定



ストッパー



2

防災備蓄してありますか？



救援物資等が届く3日程度をしのげる備蓄を！

メインのお住まいと同様、別荘ユースのお部屋にも防災備蓄があると安心です。当館管理組合でも、ある程度の食料・飲料等の備蓄はありますが、繁忙期の来館者全員に行き渡るだけの量には全く及びません。また大規模災害に被災すると、物資も不足するのでもしもの時に備えて、救援物資等が届く迄の最低限の備蓄をするようにしましょう。

✓上下水道断水対策

・飲料水3日分(1人につき1日3L)
・非常用簡易トイレ

✓ライフライン遮断対策

・電池式LEDライト
・カセットコンロ
・電池、燃料類
・電池式携帯充電器
・身体拭き用ウェットティッシュ等

✓必需品備蓄

・非常食(缶詰・レトルト食品等3日分)
・トイレットペーパー
・ティッシュペーパー
・常備薬
・消毒用アルコール
・生理用品

3

火災保険・家財保険・地震保険入ってますか？



もしもの損害を大きく補填！

別荘ユースで滞在日数もそんなに長くはないので、と油断していると、もしもの時に部屋に被害が出ると大きな支出になってしまいます。地震によるボヤ被害(内装類の延焼、消火活動による水被害)、家具や家電、家財類(食器類なども含む)の被害、壁や窓ガラスの亀裂などの被害に備えるには、家財や地震の特約がついた火災保険に加入しておくで安心です。

✓火災保険(建物)補填対象

・ボヤによる内装(固定品)の延焼被害

✓家財保険特約補填対象

・家具や家電、家財類(非固定品)の損傷被害

✓地震特約補填対象

・壁や窓ガラスの亀裂被害
・ボイラー、冷暖房機、
室外機等固定家財の損傷被害

※被災実態、被害実態により保障の可否、補償対象が診断されます。

近未来の巨大地震

- 2011年 東日本大震災
- 2016年 熊本地震
- 2018年 北海道胆振東部地震
- 2024年 能登半島地震
- 202×年 首都圏直下地震
- 202×年 南海トラフ巨大地震
- 202×年 六日町活断層地震?

80%



東京備蓄ナビ



株式会社ATAC
保険を通じて
『人生のパートナー』に。

